

# 市報 とよかまち

## 特集 戦後50年 私たちは子や孫に

### 戦争を語り継げるか

▼十日町おまつり 6  
▼第15回新潟・利根川フェスタ 7  
▼10月1日は国勢調査 7  
▼市民のページ 8・9  
▼お知らせ 10・11

8/10

1995年〈平成7年〉

No.466

■発行/十日町市役所  
〒948新潟県十日町市千歳町3丁目3番地  
TEL 0257-57-3111  
■編集/企画人専課広報広聴係



戦後50年。この半世紀という時の長さは、今を生きる私たちにとってどんな意味を持つのでしょうか。

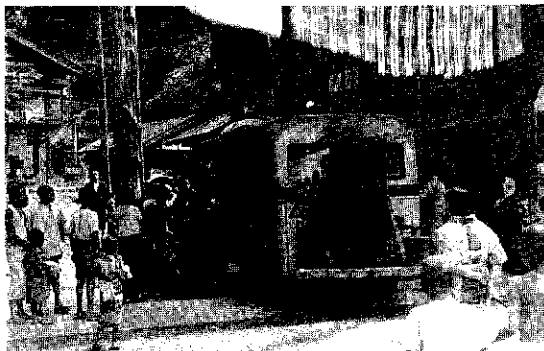
第二次世界大戦という、人類がかつて経験したことのない大きな悲劇から、私たちは何を学びとっていく必要があるのでしょうか。

半世紀にわたる反省と復興への努力が、今の日本を作り上げたのです。

今私たちにできることは、二度とあの悲劇を起こさないために、子や孫に平和の尊さを伝えることではないでしょうか。

今回の特集は、満州事変から始まった15年戦争、終戦そして戦後の苦闘を当時の写真を基に市史編さん委員の上村政基さんからつづっていただきました。

# から太平洋戦争へ



木炭自動車：ガソリンが使えなくなり、木炭、木片などを燃料にした木炭自動車（昭和15年）

国民の貧富の差を大きくするばかりでした。心が晴れる機会もなく、やっとその日を生きていくような人たちが多くなっている反面、有り余る金の力でぜいたくな日常生活を送る上流家庭があり、その中間には夢も希望

明治年代には日清・日露戦争があり、大正初年には第一次世界大戦がありました。政治・経済・文化など、

## 軍国日本への足どり

昭和六年九月に満州事変が始まり、二十年八月の大東亜戦争（太平洋戦争）終戦までの十五年間は、戦争に明け暮れた日本でした。年表で見ると、この間上海事変・支那事変があり、さらに張鼓峰事件・ノモンハン事件までが相次いで、日本国民にとっては、気持を休める余裕など一つもなかった時代です。戦場で大切な生命を懸けて戦う兵士たちの苦闘はいまでもなく、内地で戦争体制に協力する人たちにとっても、いいようなない圧迫感に覆われた暮らしが毎日繰り返されていました。生活の何もかもが、「戦争」という言葉に包まれていた、十五年間だったのです。

あらゆる面で近代的な国家を作りあげようと努めてきた日本は、これらの戦争を経たあと、軍事的な面からも世界のトップに位置する体制を整えてきたのです。しかし、大正末から昭和初めにかけての大不況は、

## 社会の動き

（注）米価（80銭）は、生産者米価、新潟県経済連資料による。

- 〈昭和8年〉1931  
9月 満州事変（九一八）
- 10月 北海道東北で大地震  
※ 米価 六四・五〇銭
- 〈昭和7年〉1932  
1月 上海事変  
5月 五・一五事件（海軍将校ら首相官邸などを襲撃、大義首相を射殺）  
※ 米価 八四・七一銭六厘
- 〈昭和8年〉1933  
3月 国際連盟脱退  
3月 三陸地方大地震大津波、死者一五二五人  
※ 米価 一〇四・八〇銭
- 〈昭和9年〉1934  
9月 室戸台風、関西地方大暴風雨、死者五〇〇人  
※ 米価 一四四・八〇銭
- 〈昭和10年〉1935  
※ 米価 一〇四・九〇銭
- 〈昭和11年〉1936  
2月 二・二六事件（陸軍将校らクーデターを企て斎藤内大臣、高橋蔵相らを殺害）  
※ 米価 一一四・八〇銭
- 〈昭和12年〉1937  
7月 盧溝橋で日中軍衝突（日中戦争始まる）  
12月 南京を占領、大虐殺事件  
※ 米価 一二四・九〇銭



季節託児所：男手が少なく、主婦が田園へ出たあとを守る季節託児所（昭和14年）

いたようです。そのために、生活上や社会改造をはかる人たちに対しては強い弾圧を加え、革新的な大衆行動を禁止することが政治・行政の大きな命題となりました。さらに、精神面の強化策として、富国強兵という掛け声の下に、軍国主義的な教育が進められるようになりました。社会秩序の安定や、思想普導をはかる方策が、いつの間にか、軍事国家の強化にすりかえられていったのです。



防空演習：空襲に備えて、留守を守る婦人たちが防火訓練（昭和14年）

出書 十月一日 十五日

券債く毒元紀く輝

貯蓄債券

貯蓄債券：軍費調達のため、強制的に割り当てられた貯蓄債券（昭和15年）

# 満州事变ぼっ発

## 戦争に追われた日々

男子学生・生徒に対しては、既に教練科目が設けられていましたが、満州事变後の昭和十年に開設された勤労青年対象の青年学校でも、専門的な軍事教育が行われました。良き兵士を育てる準備教育となったのです。

満州事变では、仙台第二師団が直接戦場にあり、わが郷土兵たちが出征しました。翌年、起った上海事变とともに、勇敢



出征兵の歓送：応召兵を送る旗の波。無事に故郷へ還ったのは何人か

に戦った将兵たちの実戦談が少年少女雑誌に載り、学校では学芸会への題材にも採り上げられました。しかし、その陰には、「名譽の戦死」という悲しい言葉が、国民の間に浸透していったのです。その人たちが

の犠牲の上に、多くの国々からの強い非難を浴びながらも満州国が建国されました。そして、十二年七月に中国と開戦し、その間にソ連と衝突した張鼓峰事件・ノモンハン事件もありました。明治・大正時代とは全く異なった戦争の方式があらわれたのです。戦争資材を大

- 〈昭和13年〉1938
  - 4月 国家総動員法公布
  - 7月 張鼓峰事件
  - ※ 米価 一三四四二銭
- 〈昭和14年〉1939
  - 2月 政府、鉄製不急品を回収開始
  - 4月 青年学校義務制となる
  - 5月 ノモンハン事件
  - 7月 国民徴用令公布
  - 11月 米穀強制買入省令公布施行
  - ※ 米価 一六四三三銭
- 〈昭和15年〉1940
  - 6月 六大都市で砂糖・マッチの切符制開始
  - 9月 日独伊三国同盟調印
  - 10月 大政翼賛会発会式
  - 11月 紀元二六〇〇年記念式典、皇居前で行行
  - ※ 米価 一六四三〇銭
- 〈昭和16年〉1941
  - 3月 国民学校令公布（四月一日発足）
  - 7月 全国の隣組一斉に常会を開催
  - 12月 対米英宣戦布告（日本軍ハワイ空襲（マレー半島上陸）
  - ※ 米価 一六四五〇銭
- 〈昭和17年〉1942
  - 1月 食糧の通帳配給制実施
  - 1月 マニラ占領
  - 2月 衣料切符制実施
  - 4月 米軍機日本本土初空襲
  - 6月 ミッドウェー海戦
  - 8月 米軍ガダルカナル島上陸
  - ※ 米価 二六四九〇銭



金属回収：鉄類の不足に協力し、国防婦人会員が金属回収（昭和14年）

量に消費していく戦いになっていったのです。広い戦場に、人馬と兵器を配置し、食糧や資材を届けなければなりません。次から次へと出動命令が出されて、応召兵たちは家族と故郷に別れを告げました。内地に残っている人たちは、国民総力戦という名の下に、戦場へ送る物資調達のため、生活のあらゆる面についての制約が課せられました。

皮・ゴム製品が店頭から姿を消し、衣料・ガソリンも使用制限、マッチも配給です。自由販売であった米は国が強制買い上げして各



開墾作業：生産増強・食糧増産が合言葉だった開墾作業

戸に配給します。一日に食べる量まで規制されたのです。ぜいたく品というので、十日町織物も製造禁止となりました。皇紀二千六百年を祝ったあと、国民学校で使った教科書は軍事色一辺倒、大人も子どもも戦争の中で生きてきました。

# 敗戦から終戦

## 緒戦の勝利から

## 敗戦へ

アメリカ・イギリス・中国などの戦争は、アジア諸国の解放をねらい、それぞれが独立した平和と自由を手に入れようとする「聖戦」であるといい、大東亜戦争と呼ばれました。南に北に、東から西へ、陸・海・空に大変な戦闘が繰り返されました。そして、日本は敗けました。尊い生命を国に捧げ、耐えに耐え忍んだ国民たちの苦勞が、煙のように消えてしまった敗戦でした。

昭和十六年十二月八日、開戦早々に海軍はハワイ真珠湾を急襲して大戦果をあげ、世界の人びとを驚かせ



学童疎開：戦火を逃れて、市内に疎開してきた学童たち（昭和19年）

ました。陸軍はフランス領印度支那を南進してマレー半島を攻め、やがてシンガポールを攻略するなど、国民たちは日ごろの苦勞が実ったと大喜びしました。開戦の日を肝に銘じようというので、毎月八日を大

詔奉戴日と定め、戦意高揚の行事を進めました。しかし、これまで戦ってきた中国大陸に加えて、新しい戦場はフィリピン・ボルネオ・スマトラなどという、遙かに海を行く島です。

軍艦や輸送船は、広い太平洋を何日もかけて航海しなければなりません。しかも、その海には、敵の艦が潜んでいるのです。

この戦いは、物量消費戦争だといった人もいます。船と飛行機は、大量の燃料

〈昭和18年〉1943

2月 ガダルカナル島撤退

5月 アッツ島日本軍全滅

5月 木炭のほカマキ・タキギも配給制

12月 第一回学徒兵入隊（学徒出陣）

※ 米価 一八円四二銭

〈昭和19年〉1944

1月 緊急国民勤労動員方策要綱決定

3月 学童給食・空地利用徹底、一般疎開促進の二要綱決定

6月 大都市の学童疎開決定

8月 砂糖の家庭用配給停止

8月 学徒勤労令・女子挺身勤労令公布

11月 B29東京初空襲

12月 東海地方に地震・津波 死者 九八八人

※ 米価 一八円八〇銭

〈昭和20年〉1945

3月 B29東京を夜間大空襲、このころより空襲激化

4月 米軍沖縄本島に上陸

7月 主食配給一割減実施（否一割）

8月 広島・長崎に原爆投下

8月 ポツダム宣言受諾回答

8月 天皇「終戦詔勅」放送

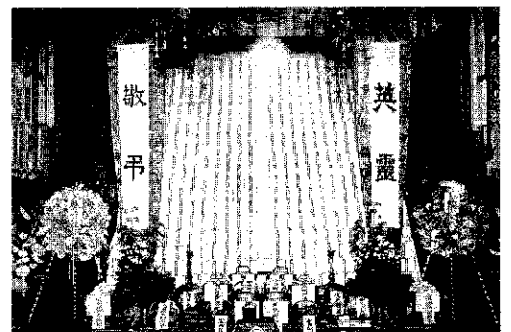
9月 降伏文書調印

12月 総司令部、修身・日本歴史・地理の授業停止を命令

※ 米価 六〇円

を消費するのです。今までの物資調達の方法ではとても間に合いません。まして向かってくるアメリカは、世界最大の物資国です。日本では、人手が不足、着るもの食べるもの、極端に乏しい生活でした。

戦局は、次第に不利となってきました。郷土兵が守って死闘の続けられた南のガダルカナル島では、十八年二月に撤退。五月には北のアッツ島で玉砕。日本軍の兵力が手薄になると、アメリカ軍の飛行機が内地に襲撃して爆撃を繰り返して、軍用施設・兵器工場を攻撃するとともに、非戦闘員の住む一般住宅まで焼き尽くすようになりました。



戦死者の葬儀：無言の凱旋を迎えた遺族の悲しみに、私たちはどのように報いているか



観測史上最高の豪雪：降雪深累計（2,103cm）、積雪深（425cm）を記録。雪処理に明け暮れる毎日（昭和20年）

軍民一体となって闘った悲惨な沖縄戦が終了して、次はいよいよ本土攻撃が行われるかといっている時、広島・長崎に原子爆弾が投下されました。一面の焼野原でした。二十年八月十五日止午、天皇の「終戦詔勅」がラジオ放送されました。日本人全体が、歯を食いしばって生きてきた、長い戦争が終ったのです。

# 戦後の苦闘

敗戦からの昭和二十年代は、混乱と再起への模索と、新制改革への懸命な努力が続けられた十年間でした。

その前半は、勝利国である連合軍が占領政策を施した時代であり、民主主義国家への再建が主題でした。

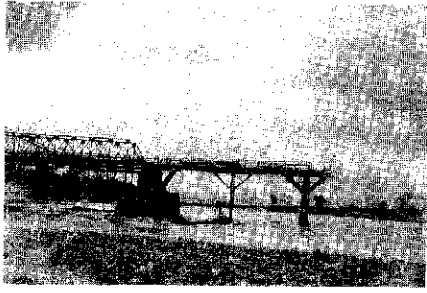
後半は、連合国側との講和条約が成立してようやく自主独立の立場が与えられ、朝鮮動乱の特需景気に乗って工業生産が急上昇し、ひいては日本の産業復興を得た時代となりました。

## 混乱からの

### 脱皮

二十年の冬は記録的な豪雪で、飯山線は三か月も運休しました。当然に雪消えも遅く、稲作も畑作も冷害を受けるという敗戦と大凶作の年でした。

さらに、秋の大雨で信濃川が大水出。十日町橋はも



十日町橋が流失：大雨で信濃川が大はん濫。沿岸農地のほとんどが流失（昭和20年）

ちろん、沿岸耕地のほとんどが流失してしまったのです。本当に、踏んだり蹴ったりという年でした。

そこへ、戦災に追われた

都会からの疎開者、復員軍人、外地引揚者が加わったのですから、主要食糧の不足は当然のこと、代替食品を求める方法もありませんでした。占領軍からの援助物資も、わずかな一時的な救いにしかなりません。

外地引揚者の中でも、満州開拓で出ていた人たちは

とくに困っていました。

国の方針に随って悪条件の現地へ乗りこんだ

のに、苦勞して得たものは敗戦で一切を失っ

てしまいました。ようやく故郷へ帰ってくる

ことができて、耕地もなく就職するところ

もなかったのです。すべてが「混乱」と

いった中で、農地開放が実現され、六・三・三制の教育制度が実施

されました。新憲法の

〈昭和21年〉1946

1月 天皇人間宣言

2月 総司令部、憲法改正の草案を提出、総司令部案を交付

4月 新教育制度の施行、農地開放実施

5月 メーデー復活

11月 日本国憲法公布

※ 米価 二二〇円

〈昭和22年〉1947

1月 全公労「二・一ゼネスト宣言」、総司令部、ゼネストの中止を命令

3月 供米に強権発動

4月 第一回知事・市町村長選挙、参議院選、総選挙

5月 日本国憲法施行

8月 古橋選手、水泳の世界記録を樹立

※ 米価 七〇〇円

〈昭和23年〉1948

2月 農業会解散、農協設立

4月 総司令部、国旗掲揚を許可

5月 サマータイム実施（七年四月四日廃止）

※ 米価 一四八七円

〈昭和24年〉1949

7月 下山事件・三鷹・松川事件など次々と起る

11月 湯川秀樹博士ノーベル賞受賞

※ 米価 一七二五円

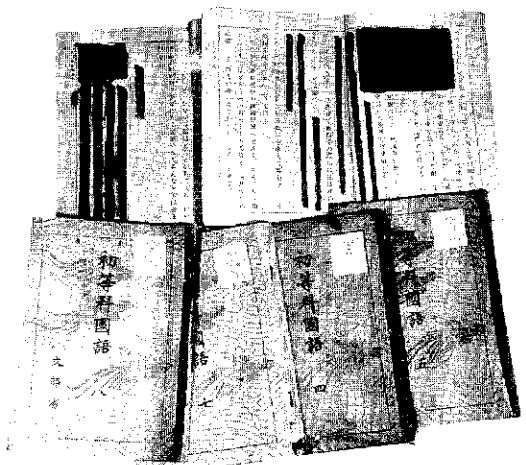
〈昭和25年〉1950

1月 マッカーサー、年頭の声明で、日本の自衛権を強調

6月 朝鮮戦争はつ発

8月 警察予備隊公布

※ 米価 二〇六四円



塗りつぶされた教科書：占領軍の命令で、戦争中の教科書は、至るところが塗りつぶされた

につきました。

二十五年ころになると食糧問題も落ち着き、産業界の動きが活発となり、三十年代の神武・岩戸景氣を迎える素地を作ったのです。



雪まつりの誕生：雪まつりの源流は町内対抗の雪の彫刻展（昭和25年）





# 諏訪まつりが

今年から

十日程  
おまつりに

伝統ある八角御輿が練り歩く「諏訪神社大祭」を、より市民ぐるみのまつりに盛り上げようと、今年から名称を「十日町おまつり」に変えて開催します。期日は例年同様八月二十五日から二十七日です。変更に至る経過、新組織等についてお知らせします。装い新たな「まつり」にご期待ください。

平成四年十二月、市観光協会と呼び掛けで諏訪神社協賛会、商工会議所、大好き十日町会の代表者からなる「十日町のまつりを考える会」が発足し、翌五年五月まで四、五回にわたり話し合いを持ちました。六月には諏訪神社主催の諏訪まつり懇談会で、考える会の検討結果を報告しました。さらに

八月には諏訪神社協賛会、市観光協会、商工会議所、大好き十日町会からなる「十日町諏訪まつり協議会」を組織しました。そして、市長に対して「諏訪神社の神事は神事として厳かに行うものとして、もう少し市民まつり的な要素を取り入れた全市民が参加できるまつりにできないものか等、今後

## 〈実行委員長〉

滝沢 東 湖 十日町商工会議所会頭

## 〈副委員長〉

池田 耕 平 十日町市観光協会会長

滝沢 光 義 諏訪神社協賛会長

蕪木 良 吉 十日町織物工業協理事長

小林 照 一 十日町市農業協組合長

吉 楽 正 雄 県建設業協会十日町支部長

## 〈顧問〉

本田 欣 二 郎 十日町市長

斎 木 実 十日町市議会議長

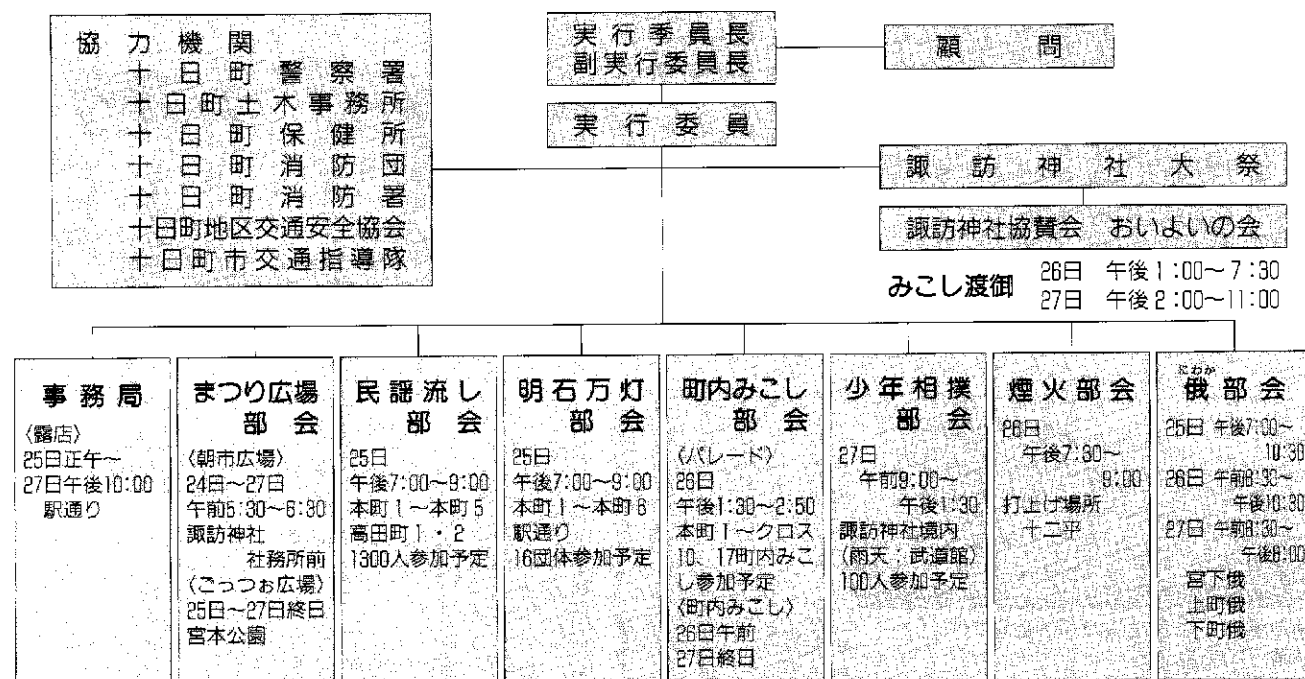
佐 伯 忠 男 諏訪神社宮司

## 詳しい「まつり行事」案内

20日過ぎの新聞折り込みチラシで詳しい行事内容をお知らせします。

のまつりの在り方を検討する機関として諏訪まつり協議会を組織したので、市からも支援、協力を願いたい」という要請をしました。その後、関係団体の事務レベルで見直し作業が進められ、今年四月、市主催の四大まつり懇談会で諏訪まつりの市民的な組織づくりについて話し合われました。それを基に組織案づくりが進められ、七月二十五日(火)に第一回目の「十日町おまつり実行委員会」が開かれ、組織、事業概要、予算等が決まりました。実行委員会では、伝統的な諏訪まつりを核に様々な市民まつりを加え盛大な「十日町おまつり」にして、十日町から都会に出て行った多くの人たちがまつりに帰ってきたいと思う魅力あるまつりにしたいと考えています。

## “十日町おまつり、実行委員会組織図





第15回

## 克雪・利雪フェア

雪国の永遠のテーマである「雪と暮らし」を考え続け、雪国のよりよい暮らしを提案しながら、新しい雪国の可能性を追い求めてきた克雪・利雪フェア。今回で15回目を迎えます。

会場は、「通年利雪・親雪広場」の城ヶ丘多目的広場（ピュアランド）。十日町雪まつりの雪上カーニバル会場でもあり、雪上スノーボードの雪を利用した利雪・親雪広場で、各種イベントや雪に関する技術展示、各種機械の展示販売を計画しています。多数の来場をお待ちしています。

9月2日(土)

午前10時～午後5時

9月3日(日)

午前10時～午後4時

### ◆城ヶ丘多目的広場

(ピュアランド)

#### ■内容

- ・雪関連技術製品の展示・宣伝・販売
- ・克雪住宅相談及び支援制度PRコーナー
- ・木造住宅関連PRコーナー



- ・手づくり木工実演・体験コーナー
- ・保存雪を活用した利雪イベント
- ・飲食・遊び・プレゼント等
- その他 イベントの詳しい内容は、「市報8月25日号」といっしょにお配りするチラシをご覧ください。
- 問い合わせ 建設課克雪利雪対策室 克雪維持係 (☎57-3111 内線271・272) へ。



～とらえよう

日本の鼓動を数字から～

## 10月1日は国勢調査です

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、大正9年から5年ごとに行われ、16回目に当たる今回は、特に21世紀の日本を考える基礎資料の提供という重要な意味があります。調査の結果は、国や都道府県・市区町村がこれからの行政を考えていく大切な資料となり、私たちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいるすべての人が調査の対象となります。

9月下旬に、世帯ごとに調査票を配布します。アパートなどに一人暮らしの人、下宿している人は一人ひとり記入してください。

調査票は後日、調査員が集めに伺います。外出がちな人は家にいらつしやる日をお伝えください。皆さんのご協力をお願いします。

### 国勢調査 Q & A

Q プライバシーは守られますか。

A 国勢調査は「統計法」等の規定に基づいて行われます。これは調査する人にも調査される人にも適用されます。調査を受ける人には申告が義務付けられ、一方、調査をする人は、その結果を他にもらしたり、調査票を統計をつくる目的以外に使用することは固く禁じられています。プライバシーは守られますので、ご協力をお願いします。

市では、8月1日付で小川助役を本部長とする「平成7年国勢調査実施本部」を設置しました。

国勢調査についてのお問い合わせは実施本部 (☎57-3111 内線191・280) へお気軽にご連絡ください。

### 資源ごみ収集にご協力ください

4月からスタートした資源ごみ収集は、4か月余りが経過しました。

鉄・アルミ類の収集の場合、それを入れている袋の中にビン類等が入っていないか、一つひとつの袋を開けて確認していますが、次のことについてご協力をお願いします。

①ジュース等の空缶や缶詰の缶を出す際、残汁、残物が残っていると夏場は特に悪臭を放ち、破袋作業に支障をきたしています。缶の中を軽く水洗いをしてください。

②破袋作業だけで（一か所のごみステーションあたり）20～30分の時間を費やすことがあります。空缶等はまとめて一つの袋に入れて出してください（何重にもしないでください）。

また、資源ごみに限らず、通勤途中に他町内の「ごみステーション」へごみを置かないでください。一人ひとりのご協力をお願いします。

■問い合わせ 保健衛生課環境衛生係 ☎57-3111 (内線145) 十日町市川西町衛生施設組合 ☎52-3924へ。

# みんないきいき。 サクル交流録 PART 53

## 「枯木又エコミュージアムの会」

(事務局長：山田 栄)



奥さんたちは強力な青年会のメンバー

地区のみんなが待ち望んでいた「枯木又エコミュージアムの会」が今年5月4日に発会しました。そもそもエコミュージアムは20数年前にフランスで生まれた新しい理念です。エコはエコロジー（生態学）の略、ミュージアムは博物館と訳されていますが、私たちは「枯木又の自然環境や文化遺産、生活、地区の資源それ自体が、博物館で言うならば展示品であり、それを



浦和からのリレーマラソン、アンカーは子供たち

大切に守り育てながら訪れる人たちと交流が持てる地域、つまり「地域丸ごと博物館。」と考えています。

枯木又では浦和市の学習塾「わかば塾」と20年来的交流を続け、それ以前にも新潟子供の会と交流を持ってきました。このOBと枯木又青年会が一緒になって「都市住民との本格的交流をもとに十日町市の東の玄関口を目指そう」と話し合った提案が、平成4年度の市のまちづくり特別補助事業に採択されたおかげでエコミュージアム構想の地域づくりがスタートしました。

現在、会員は賛助会員（年会費1万円）が37人、一般会員（3千円）113人の計150人。地区の者は全世帯（17世帯）が会員ですが、市外会員が79人と半数以上を占め、熱いエールを贈ってくれていることに感謝しています。全員で86人、うち夢ある中学生以下の子供たちが16人の小さな山間地集落ですが、訪れる人たちと共有できる資源の整備に知恵を出し、汗をかきたいと思います。皆さんのご提言を私たちの会（山田栄 ☎ 59-2317・FAX 59-2326）までお寄せください。

- ① 鳥肉は皮と油身を取り、ゆでる。
- ② ナスは半分に切り、あ

③ ナスは半分に切り、あ  
④ 生ワカメは水でもどす。  
⑤ ①④を冷蔵庫で冷やす。  
⑥ ドレッシングも冷やす。  
⑦ 青じその葉は千切りにする。  
⑧ 食べる直前に、⑤とドレッシングを和え、青じそとゴマをちらす。

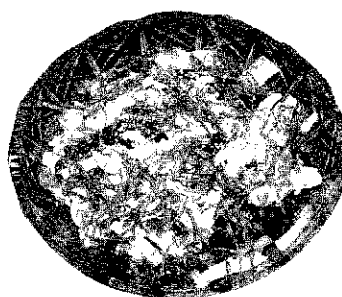
現代人は高栄養の食事が多く、特に動物性脂肪の採りすぎだといわれています。  
副菜には、野菜、海藻などを多く採り入れた一品を加えたいものです。カルシウムも豊富な一品です。  
ドレッシングに酢を多く使い、塩分を少な目にしました。ナスの替わりにキュウリ、トマト、ブロッコリーなど、なんでもおいしく食べられます。みんな一緒に和えてもOKです。

### 《作り方》



富井千代栄さん  
(水沢2 ☎ 58-2167)

### ナスの中華風サラダ



〈材料〉 4人分

鳥手羽(またはササミ)・・・150g  
ナス・・・6～8個  
生ワカメ・・・片手山盛りで1杯位  
ストリングチーズ・・・1本  
青じその葉・・・5～6枚  
ゴマ・・・少々  
ドレッシング  
ニンニク・・・2かけ(すりおろす)、うめ干し・・・2個、酢・・・大さじ2、みりん・・・大さじ1、正油・・・大さじ1、酒・・・大さじ1、ゴマ油・・・大さじ1½

く抜きをする。よく水を切ってから、こげ目がつくまで焼く。  
③ ストリングチーズは、細くさいしておく。

やまな会 (十日町市食生活改善推進委員協議会)

おすすめメニュー

⑪



# ワンポイント **A B** **C** 英会話レッスン 29

樋口 潤子

(十日町市企画人事課)

"OUCH!"

痛い!

うっかり机の角にぶつかってしまった時、とっさに出る一言は「Ouch!」(アウチ)。このように、とっさの時や驚いた時、英語ではどんなふうに言うのか、いくつかご紹介しましょう。

前出の「Ouch」は「痛い」。「おっと」というのは「Oops」(ウーパス)です。例えば手に持っている物を落としてしまいそうな時、人にぶつかりそうになった時などに使ってみてください。驚きを表す時は、良い事への驚きと悪いことへの驚きに分けられます。前者の場合には「Wow」(ワオ)という言葉がよく使われています。「わあ、すごい!」という意味です。後者には「Oh, no」(オウ ノー)などがあります。

驚きの言葉で、良い・悪いにかかわらず使われるのが「Jesus」(ジーザス)、転じて「Gee」(ジー)、*「Oh, my God」*(オー マイガッ)などがあり、いずれもイエス・キリストの意味です。*「Oh, my God!」*は、驚きが非常に大きい時に使う言葉で、あまりしょっちゅう使うと場違いな感じがします。

以上のように、感嘆詞は短くて覚えやすいので、皆さんも使ってみてください。

※来月からこのコーナーに、市内在住の、中学校・高等学校英語指導助手の皆さんから登場していただきます。お楽しみに!

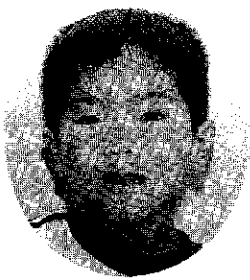
## じょうずに描けたね!

天使幼稚園

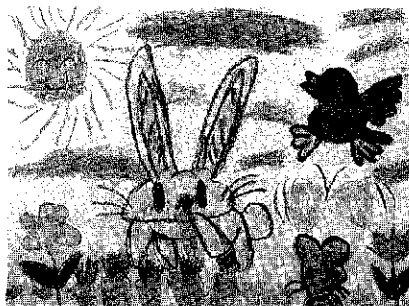
(125)



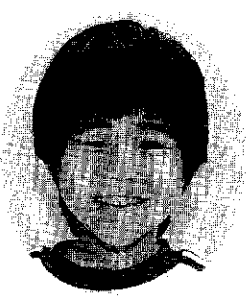
ファミコンの「カービーボウル」をやっているところだよ。ぼくはファミコンが大好きで色々なものをもっているんだ。



鈴木 郁 弥 くん  
(5歳)



うさぎがにんじんを食べているところだよ。私は動物が大好きなの。えさをやったり世話もするの。



小宮山 花 菜 子 ちゃん  
(6歳)

生まれは川西町の子根岸です。信濃川沿いにある村で、大雨が降ると何度か堤防が崩れて、田んぼが流されたような気がするの。また、ある時の大雨の後、村の衆が総出で、信州から流されてきたスギの丸太を何本も引き上げらんとしたてえ。今は立派な堤防を作ってもらって、有難いことだのお。

二十三歳の時、嫁に来たんだて。

子根岸の実家の本家衆と、こじん衆の本家が親類で、行き来していたんだて。それで鉢の本家のじいさまが、おら分家にどうでも嫁に来てほしいんで、そっけなんに嫁に来たんだて。



尾身 ムメノ さん

(鉢・89歳)

その昔  
そして今

(65)

子根岸にいるときは、機織りしたり、針仕事をしたりしてたんだて。嫁に来てからは、蚕のために桑畑へ行ったり、田んぼ仕事をしたりしたてえ。桑畑は石仏の奥の方にあったんで、遠いっけてえ。よそん衆は、この沢(鉢沢)のむこうのむこう山まで行っただぜの。昔ん衆でやんは、大変だったこっつお。今、みんな荒れているの。

昔に比べれば今は良くなったのお。だとも何買うにしても金がいって大変だてえ。だっけおらどこの男衆は、冬働きに東京へ行かんじやなんねやんだて。だっけ、冬は雪掘りしらが、女手ばっかなんで、大変なんその。

去年、じいちゃんが九十二歳で亡くなったんの。内孫も三人東京へ行っただて。だっけ寂しいてえ。毎日テレビ見てらんそ。特に相撲の貴乃花、若乃花兄弟を良く見らんすてえ。

## 5 し

**予約受付中 県民手帳**  
(1996年度版)  
「持っている」  
役立ちます

県民手帳の予約を受け付けます。  
表紙は、ラベンダーとワインレッドの2色があります。

■価格 400円

■発行時期 11月中旬

■申し込み 8月25日(金)までに総務課文書統計係(☎内線224)へ。

**縁豊かなふるさとに就職しませんか!!**

市では、十日町市・中魚沼郡内の事業所からの求人を一覧表にして無料で配布しています。期間は8月10日(木)から20日(木)までです。ご家族の人もお持ち帰りできます。

■配布場所 市役所(高齢者職業相談室)、クロス10、ライオン堂

■問い合わせ 十日町シルクモール 十日町店、十日町観光課商工労働係(☎内線31)へ。

## 第28回市展ポスター

第28回市展の採用ポスターが、7月24日(月)に行われた市展運営委員会です。第28回市展は10月22日(日)・24日(火)に開催されます。

■採用 宮沢美世子さん(小黒沢)

■佳作 出川千枝さん(五軒新田) 小川純一さん(東京都杉並区)

**農業用軽油の免税証交付**

■とき 8月24日(木)

■ところ 午前9時～午後4時 十日町総合庁舎

■必要書類 ①免税証油使用者証 または免税証共同交付申請明細書 ②耕作面積証明書(農業委員会等で証明します) ③印鑑(共同の場合は全員の印鑑) ④機械を購入した場合は、販売証明書とカタログ ⑤免税証交付申請書(交付会場で記載)

■問い合わせ 十日町財務事務所 課税課(☎57-5512)へ。

**7年度就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定試験**

この認定試験は、病気などのやむを得ない事由により、その保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予、または免除された人等に対し、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために、行われる試験です。合格すると、高等学校の入学資格が与えられます。

■受験資格 ①就学義務猶予免除者である人 ②就学義務猶予免除者であった人(平成8年3月31日までに満15歳以上になる人)

■願書受付期間 8月7日(月)～9月6日(水)まで(土・日曜日を除く)に新潟県教育委員会へ。

■問い合わせ 学校教育課学校教育係(☎内線311・312)へ。

## 手話講習会

■とき 9月1日・8日・22日・29日・10月6日・13日・20日の各金曜日、午後7時30分～9時

■ところ 市民会館

■参加費 350円(テキスト代) 当日徴収します。

■定員 30人(先着順)

■申し込み 8月25日(金)までに十日町市社会福祉協議会(☎内線161)へ。

## 「石川光男」氏講演会

■とき 8月29日(火)午後1時30分～3時30分

■ところ 南中学校体育館

■講師 石川光男氏(国際基督教大学教授)

■入場料 無料

■問い合わせ 南中学校・金沢(☎52-2577)へ。

## 「命がふるえるフラメンコ」アトラクタ

■とき 9月2日(土)

■ところ 午後8時～10時 水沢中学校跡地

■入場料 無料

## 「第一回十日町石彫シンポジウム」

国内外で活躍する6人の彫刻家を招いての「第一回石彫シンポジウム」の開幕式が、7月27日(木)午後5時から総合体育館北側広場で行われ、本格的な作業が始められました。

真夏の炎天下、体力の限界に挑戦する6人の彫刻家たちの作業を是非一度ご覧ください。彫刻をきつと身近に感じることができそうです。

■期間 7月27日(木)～8月30日(水) 午前8時～午後6時

■会場 総合体育館北側広場

■問い合わせ 十日町石彫シンポジウム



石の破片が飛ぶため、完全防備での作業

## 「ご利用ください」信濃川水辺のひろば

建設省信濃川工事事務所では、昨年まで実施してきた「大好き夏まつり」会場(妻有大橋下周辺の河川敷)を、市民がいつでも使える「水辺のひろば」として提供しています。

グループ単位でのキャンプ、家族や会社でのバーベキュー大会などに利用してください。

■場所 妻有大橋下周辺河川敷 広場

■その他 ①仮設トイレが設置してあります ②給水施設はありません、飲料水はご持参ください ③ゴミは必ずお持ち帰りください

■問い合わせ 建設省信濃川工事事務所十日町出張所(☎52-180) または大好き十日町会事務局(商工観光課内☎内線232)へ。



昨年までは大好き夏まつりにぎわいました

# 8月 交通安全キャンペーン

☐疲れてる 夏こそ願う ゆとりの運転  
飲酒、過労、高速暴走運転を追放しましょう。交差点では「しっかり止まってはしっかり確認」を励行しましょう。



## 7月中の交通事故発生状況 ( )は累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	平成7年 21(103)	23(117)	1(3)
	平成6年 16(106)	22(127)	0(6)
川西町	平成7年 10(62)	10(68)	0(4)
津南町	平成6年 9(60)	10(64)	1(2)
計	平成7年 31(165)	33(185)	1(7)
	平成6年 25(186)	32(191)	1(8)

**事故発生**  
**27歳男性が 酒酔い運転でひき逃げ**  
7月30日(日)午後7時30分ころ高田町地内の県道上において、27歳の男性が酒酔い運転をして、67歳の女性を後方から跳ねて死亡させ、逃げるといふ重大事故が発生しました。  
※飲酒運転は絶対にしない、させないようにみんなで注意しましょう。

**ふれあい福祉センター総合相談所 一般相談を休みます**  
十日町市社会福祉協議会が毎週月曜日～金曜日まで行っている「ふれあい福祉センター総合相談所」の一般相談を、8月14日(月)～16日(水)の3日間お休みします。



■問い合わせ 土市祭典委員会  
中鉄男(☎58-2105)へ。  
**体育・スポーツ**  
**市民プールがリフレッシュ**  
プール内やプールサイドがきれいに生まれ変わりました。どうぞご利用ください。  
■8月13日(日)から閉場時間が午後6時に変わります。  
■問い合わせ 市民プール(☎57-1956)へ。

**保健・福祉**  
**麻しん(はしか)の予防接種**  
麻しん(はしか)の予防接種を医師会の協力を得て、市内の医療機関で個別に行います。  
■接種対象者 平成元年11月1日～6年4月1日に生まれた幼児。ただし、すでにはしかにかかったことのある子や麻しん、MMRの子防接種を受けたことのある子は除きます。  
■受けられない子 1年以内にけいれんを起こしたことがある子など。慢性的病気がある子は、かかりつけの医師に相談してください。  
■受付期間 8月21日(月)～8月31日(水)の午前8時30分～午後5時(土・日曜日を除く)

■申し込み 母子健康手帳と印鑑を持参の上、保健衛生課保健衛生係(☎内線41・42)へ。電話での受け付けはしません。  
**酒害の相談**  
つい酒を飲み過ぎる人やその家族の会です。  
■とき 8月25日(金) 午後1時30分～3時  
■ところ 十日町保健所  
■申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または保健衛生課保健衛生係へ。  
**心の健康相談**  
■とき 8月21日(月) 午後1時30分～3時  
■ところ 十日町市保健センター  
■担当 山下医師(中条病院)  
■申し込み 十日町保健所または保健衛生課保健衛生係へ。

**精神障害者施設「六花園、堀之内工芸後援会」会員募集**  
十日町市、小千谷市、中魚沼、南魚沼、北魚沼をエリアとする六花園では、事業推進のバックアップをしてくれる後援会員を募集しています。  
■年会費 ①個人会員 1口1,000円  
②法人・団体会員 1口10,000円  
■問い合わせ 社会福祉事務所 護係(☎内線131・132)へ。

**ボランティア募集**  
十日町市身体障害者福祉センターでは、身体障害者デイサービス事業のお手伝いをしてくれるボランティアを募集しています。  
■内容 ①版画・絵画(火曜日)  
②手芸・焼き物(金曜日)  
※時間はいずれも午前10時から2時間程度です。  
■問い合わせ 十日町市身体障害者福祉センター(☎57-9438)へ。  
**ひとり親家庭 へのほの交流事業**  
■とき 10月1日(日)(日帰り)  
■ところ 県母子休養ホームしらゆり荘(六日町小栗山)  
■対象 市内に在住するひとり親家庭で、20歳未満の児童を扶養している家庭の親と子  
■参加費 大人 2,000円 子供 無料  
■申し込み 9月8日(金)までに十日町市母子福祉いつ美会事務局(社会福祉協議会内☎内線161)へ。

**高齢者雇用継続給付の受給手続きはお済みですか?**  
**育児休業給付**  
雇用保険に雇用継続給付制度が設けられ、一定の受給要件を満たす60歳以上65歳未満の被保険者及び育児休業を取得した被保険者に、雇用継続給付と育児休業給付が4月1日から施行されました。  
この給付を受けるためには、あらかじめ「賃金月額証明書」と「受給資格確認票」をハローワーク(公)に提出する必要があります。  
■問い合わせ ハローワーク十日町適用係(☎57-2407)へ。



# history

## ふる里の歴史散歩 ⑩

### 十日町の盆踊り

(市史編さん室)

今年もお盆の季節がやってきました。マチもムラもふる里に戻ってきた人々にぎわい、活気がみられます。

七日ころからお墓掃除、十三日がお精霊様迎え、十五日がいわゆるお盆でお寺とお墓参り、十六日はお精霊様送りとお盆行事が続きます。この間、各地で盆踊りの輪が立っています。

盆踊りは、祖霊を慰めるとともに地域の共同娯楽、その上、秋の豊じょうの祈りがこめられているものとか。多少、歌の文句や踊りに準わないところがあるのも、作物の生育に刺激を与えるためといわれています。

昔からの盆踊りには、太鼓のまわりを回わる輪踊りと、群をなして練っていく流し踊りの二つがあり、十日町のものはいずれも輪踊りの形式です。

市全域で見られる盆踊りには「三階節」「甚句」「おけき」と新民謡の「十日町小唄」。北寄りの中条・下条地区では「大の坂」「新保広大寺」と「ヨイヤサ」など。これに対して南寄りの川

治・水沢地区では「カラス踊り」や「ホーカイ節」などの踊りがみられます。

近ごろの盆踊り会場をのぞいてみますと、拡声機から流れてくるのは全国各地の有名民謡が多く、踊りもまたお行儀の良いものばかり。これではだれもが気楽に輪の中へ飛び込めるといふ感じのものではありません。

盆踊りはやはり、その土地に伝わってきたものではないと、ご先祖様も面くらってしまうにちがいありません。ふる里の盆踊りは、大切にしたいものです。



時間とともに踊りの輪が二重三重に広がります

## 今月の表紙

人は子を産み、子を育て、その子もやがて親になる。この繰り返しが昔も今も変わっていないと思います。今月の表紙は、戦後50年の今年生まれた赤ちゃん(樋口愛ちゃん・神明町)を母親(樋口由佳里さん)がこの上ない愛情で見つめる情景を撮影しました。戦中・戦後の動乱期にもこんな情景があったのでしょうか。

戦後50年の今年、民間団体を中心に、朗読劇「この子たちの夏」、「ひめゆりの塔」親子映写会、「きけわだつみの声」映写会など様々な行事がおこなわれました。さらに8月6日(日)には「第41回原水爆禁止十日町市民大会」が行われました。戦争の悲惨さを改めて見つめ直し、たゆみない平和運動を継続しましょう。



### ノシメトンボ

アカトンボの仲間の中で一番大きなトンボです。7月から10月にかけて多く見られます。羽の先に黒褐色の帯があるので、その帯がノシメトンボと他のトンボとを見分けるポイントになります。

胸のわきには、上のへりまで届く、2本の太くて黒い筋があります。腹部は橙(オレンジ)褐色で、両側に黒い筋があります。この筋のできる縞模様が、江戸時代の武士が礼服として使っていた「のしめ」という小そでに似ていることから、「ノシメトンボ」という名前が付けられたといわれています。

7月から10月にかけて池や沼で多く見られますが、未熟なものは水辺を離れて林の中で生活し、木の梢や高い枝先などにとまっています。成熟すると水辺にもどり産卵の準備をします。



## 編集後記

□最近ある人から借りた本の中に、南の島でグータラしている現地人と、文明国からやってきた白人との興味深い会話がありました。

「そうやって毎日ゴロゴロしていると、いつまでたってもいい生活はできないぞ。少しは働いたらどうだ」「すると何かね。あんたらが終始忙しそうにしているのは、いい生活とやらを手に入れるためのかね」「当たり前じゃないか」「じゃあ聞くが、いい生活とはどういう生活なんだ」「毎日ゆっくり楽ができて、欲しいものはいつでも手に入るような生活だ」「何だ、そんな生活ならわしらも今やっていることじゃないか」「毎日あくせく働いている私たち。ジョークとして笑って飛ばしてしまえばそれまでですが、何か思い当たる場所がありませんか。」

## 市の動き

(7月末日現在)

■人口	45,488人(前月比 -19)
■男	22,383人(リ -14)
■女	23,105人(リ -5)
■世帯数	12,789(前月比 ±0)